

## 企業概要

- 地元で社会問題化していた「空き家の古民家」に注目。日本の伝統的な工法で建築された古民家には、現在では入手が困難な樹種や大きさの構造材が使われており、それらを「古木」としてインテリア等に活用するビジネスを展開。
- 古木を活かした店舗デザインから施工まで一貫したサービスを提供している。
- 長野県で木工所として創業、現在は3代目社長が引き継ぐ。

企業情報	
企業名	株式会社 山翠舎
代表者	山上浩明氏
設立年	1970年
資本金	2,000万円
従業員	25人
本社所在地	長野県長野市大字大豆島4349-10
事業概要	建築
電話番号	026-222-2211



代表取締役 山上氏  
(同社提供資料より)

## SDGs達成を通じた取組

### 【経緯・背景等】

空き家となった古民家が社会問題化し壊されている現実に直面し、地元で建築を扱う企業として地域課題の解決に貢献したいとの想いから。従来は古木を輸入していたが、地元の古民家の古木を活用することが解決策となると考えた。古木に特化したビジネスをすることで他社との差別化にも成功している。

### 【具体的な取組、製品・サービス】

- 古民家から入手できる「古木」を活かした店舗のデザインや施工、また古木を使った家具の製作・販売。廃材となる可能性のあった木材の再利用による廃棄物削減と脱炭素化に貢献。
- 空き家の移築やリノベーションによる再活用と地域資源の活用。
- 古木を活かしたパートナーシップの構築。  
(古木による店舗施工を実施した飲食店間連携「KOBOKU倶楽部」、古木施工ができるパートナー企業連携)。

### 【取り組んだ成果・効果】

- 古木を使った設計施工受注は8年で約400件（2017年時）、地元長野県だけでなく首都圏からの発注も増加。「古木」というブランドを確立しつつある。
- 古木を使った家具は、大手コーヒーチェーンや銀座に完成し話題を集めた「MUJI HOTEL」へ導入実績あり。
- 職人の若返りが進み、20-30代の職人が8割を占める。
- 長野県SDGs推進企業登録制度へ登録。

(写真：同社提供資料)



古木の活用空間：鎌倉『岸家』



銀座『MUJI HOTEL GINZA』



古木を活用した駅ビル内物販店  
『信州くらうど』



古木で製作したチェア



古木を管理する工場：古民家から取り出した梁、柱

### 【貴社にとってのSDGsと、その展望】

- 今後は供給体制と生産体制の確立をはかります。具体的には全国の古民家を管理するための「古木・古民家データベース（特許出願中）」の構築と、全国に施工技術を伝える「古木研究会（VC）」の推進です。さらに、認知拡大を図りながら、ターゲットを国内に留めず、海外にも広げていきます。